



本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 6月19日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-182692

願 人

Applicant (s):

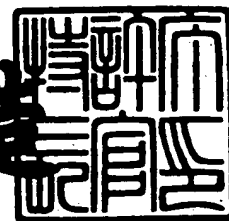
株式会社フリービット・ドットコム

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 3月 9日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



【書類名】 特許願

【整理番号】 00A063

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 H04L 12/00

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都渋谷区神泉町 1 0 番 1 0 号 株式会社フリービット・ドットコム内

 【氏名】 石田 宏樹

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都渋谷区神泉町 1 0 番 1 0 号 株式会社フリービット・ドットコム内

 【氏名】 草野 ▲隆▼史

【特許出願人】

 【住所又は居所】 東京都渋谷区神泉町 1 0 番 1 0 号

 【氏名又は名称】 株式会社フリービット・ドットコム

【代理人】

 【識別番号】 100104215

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 大森 純一

【選任した代理人】

 【識別番号】 100104411

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 矢口 太郎

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 069085

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1
【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 インターネット接続システム、インターネット利用者への情報提供システム、及びインターネット利用者への情報提供方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 利用者の端末をネットワークに接続するインターネット接続システムであって、

利用者の発信元地域情報を取得する利用者発信地域情報取得手段と、
利用者の発信元地域に応じたコンテンツ生成するコンテンツ生成手段と、
前記インターネットに接続している利用者の端末に、前記コンテンツ生成手段によって生成されたコンテンツを配信するコンテンツ配信手段と
を有することを特徴とするインターネット接続システム。

【請求項 2】 請求項 1 記載のネットワーク接続システムにおいて、
前記利用者発信地域情報取得手段は、
電話会社からの着信信号に含まれる利用者発信元情報を取得する手段と、
前記発信元情報に発信元電話番号が含まれる場合には、この電話番号に基づいて発信元地域を判別する発信元地域判別手段と
を有するものであることを特徴とするネットワーク接続システム。

【請求項 3】 請求項 2 記載のネットワーク接続システムにおいて、
前記発信元地域判別手段は、発信元情報に利用者の発信元電話番号が含まれていない場合には、利用者が接続したアクセスポイントの設置された地域を発信元地域として判別するものである
ことを特徴とするネットワーク接続システム。

【請求項 4】 請求項 1 記載のインターネット接続システムにおいて、
前記コンテンツ配信手段は、前記利用者の接続を前記コンテンツが含まれるサイトにルーティングすることで、前記コンテンツを配信するものであることを特徴とするインターネット接続システム。

【請求項 5】 請求項 1 記載のインターネット接続システムであって、
このシステムはさらに、
I P アドレスの使用情報を、この I P アドレスの利用者に関連付けて格納する

I P アドレス使用情報格納手段と、

前記利用者が W e b サイトに接続する際に、接続に係る I P アドレスによる当該 W e b サイトへの接続ログを記録する接続ログ記録手段とを有し、

前記コンテンツ配信手段は、接続ログ記録手段によって記録されたログ情報に含まれる I P アドレスと前記 I P アドレス使用情報とを参照することで、利用者の接続先 W e b サイトを判別し、このサイトに関連するコンテンツを前記利用者の端末に配信する手段を有する

ことを特徴とするインターネット接続システム。

【請求項 6】 請求項 5 記載のインターネット接続システムにおいて、

前記接続ログ記録手段は、利用者の端末をインターネットに接続する際に経由させる代理サーバに設けられている

ことを特徴とするインターネット接続システム。

【請求項 7】 請求項 5 記載のインターネット接続システムにおいて、

前記コンテンツ配信手段は、

各種 W e b サイトの情報をカテゴライズして格納するカテゴライズ情報格納手段を有し、

前記接続先 W e b サイトが、どのカテゴリに属するかを判別し、そのカテゴリに関連するコンテンツを利用者に配信するものである

ことを特徴とするインターネット接続システム。

【請求項 8】 利用者の端末にコンテンツを配信するコンテンツ配信システムであって、

利用者の発信元地域情報を取得する利用者発信地域情報取得手段と、

利用者の発信元地域に応じたコンテンツ生成するコンテンツ生成手段と、

前記利用者の端末に、前記コンテンツ生成手段によって生成されたコンテンツを配信するコンテンツ配信手段と

を有することを特徴とするコンテンツ配信システム。

【請求項 9】 利用者の端末をネットワークに接続するインターネット接続システムであって、

電話会社から利用者の発信元情報を受け取る発信元情報獲得手段と、

この発信元情報から、利用者の発信元地域を判別する発信元地域判別手段と、
この発信元地域判別手段で判別した発信元地域を前記利用者に関連付けて出力
する利用者発信地域出力手段と

を有することを特徴とするインターネット接続システム。

【請求項 1 0】 請求項 9 記載のインターネット接続システムにおいて、
前記利用者発信地域出力手段は、

前記利用者の接続先からの前記利用者の I P アドレスを示した前記利用者発信
地域の出力要求に応じて、前記接続先に前記利用者発信地域を出力するものであ
る

ことを特徴とするインターネット接続システム。

【請求項 1 1】 利用者の端末をネットワークに接続するインターネット接続
システムであって、

前記利用者に端末に I P アドレスを付与し、インターネットに接続するインタ
ーネット接続手段と、

利用者の情報を前記利用者に関連付けて格納する利用者情報格納手段と、

前記利用者の接続先からの前記利用者の I P アドレスを示した前記利用者情報
の出力要求に応じて、前記接続先に前記利用者情報を出力する利用者情報出力手
段と

を有することを特徴とするインターネット接続システム。

【請求項 1 2】 利用者の端末にインターネットを通じてコンテンツを配信す
るコンテンツ配信システムであって、

利用者の発信元地域情報を取得する利用者発信地域情報取得手段と、

利用者の発信元地域に応じたコンテンツを生成するコンテンツ生成手段と、

利用者の端末に、前記コンテンツ生成手段によって生成された前記発信地域に
応じたコンテンツを配信するコンテンツ配信手段と

を有することを特徴とするコンテンツ配信システム。

【請求項 1 3】 インターネット接続サービス業者が、当該インターネット接
続サービスの利用者の発信元地域を判別し、この発信元地域に関連したコンテン
ツを生成して前記利用者に提供することを特徴とするインターネット利用者への

情報提供方法。

【請求項 1 4】 コンピュータシステムに対して所定のインターネット接続アクセスポイントにダイヤルアップ接続させる指令を与えるためのインターネット接続プログラム製品であって、

記憶媒体と、

この記憶媒体に格納され、利用する回線網種別を判別する回線網種別判別手段と、

前記記憶媒体に格納され、利用する回線網種別が所定の回線網種別である場合には接続先電話番号に発信元情報提供符号を付加する発信元情報提供符号付加手段と

を有することを特徴とするインターネット接続プログラム製品。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

この発明は、インターネット接続時に、利用者の発信元地域を判別し、これに応じたコンテンツの発信を行えるインターネット接続システムに関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

近年、インターネット利用者の急激な増大に伴い、インターネットを利用したオンラインでの各種情報提供手法が脚光を浴びている。このような情報提供手法においては、各利用者に対し、その利用者の嗜好にあったコンテンツを迅速に提供することが求められる。

【 0 0 0 3 】

このため、例えば、利用者が各種情報提供サービスに入会登録する際に、当該利用者の属性や嗜好についてのアンケートに答えておいてもらい、その情報を元に各利用者の嗜好に合う広告や情報の提供を行なう方法等が採られている。

【 0 0 0 4 】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、このような手法で得られる嗜好情報は「静的な」情報である。この

ため、利用者の嗜好のうち動的に変化するものには対応できないということがあ
る。例えば、利用者が出張先でインターネットに接続する際に最も得たい情報は
出張先地域のローカル情報であるが、上記の方法ではこれに提供することはでき
ない。

【0005】

この発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、インターネット接
続プロバイダに設置され、利用者の接続先地域を判別することができ、これに応
じたコンテンツを配信することができるインターネット接続システム等を提供す
ることを目的とするものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、この発明の第1の主要な観点によれば、利用者の端
末をネットワークに接続するインターネット接続システムであって、利用者の発
信元地域情報を取得する利用者発信地域情報取得手段と、利用者の発信元地域に
応じたコンテンツ生成するコンテンツ生成手段と、前記インターネットに接続し
ている利用者の端末に、前記コンテンツ生成手段によって生成されたコンテンツ
を配信するコンテンツ配信手段とを有することを特徴とするインターネット接続
システムが提供される。

【0007】

このような構成によれば、利用者に対して、発信元の地域に関連したコンテン
ツの配信を行うことができる。このことにより、例えば利用者が出張先や旅行先
等で最も欲するコンテンツを、利用者が自己の嗜好情報を更新しなくても配信す
ることができる。

【0008】

この発明の一実施形態によれば、前記利用者発信地域情報取得手段は、電話会
社からの着信信号に含まれる利用者発信元情報を取得する手段と、前記発信元情
報に発信元電話番号が含まれる場合には、この電話番号に基づいて発信元地域を
判別する発信元地域判別手段とを有するものである。そして、前記発信元地域判
別手段は、発信元情報に利用者の発信元電話番号が含まれていない場合には、利

用者が接続したアクセスポイントの設置された地域を発信元地域として判別するものであることが好ましい。

【0009】

このような構成によれば、電話会社からの着信信号から発信元電話番号を取得できる場合にはそれに基づいて発信元地域を判別し、取得できない場合にはアクセスポイントの設置された地域を判別することができる。

【0010】

なお、アクセスポイントに着信払い電話番号が割り付けられている場合には、前記電話会社からの着信信号に発信元情報が含まれていないことに基づいて回線接続を拒否するようにしても良い。このことにより、インターネット接続業者に無駄な課金が発生することを防止できる。

【0011】

また、この発明の一実施形態によれば、前記コンテンツ配信手段は、前記利用者の接続を前記コンテンツが含まれるサイトにルーティングすることで、前記コンテンツを配信するものである。このような構成によれば、例えばブラウザのフレーム機能を利用することで、利用者が接続している先のURLの情報とは別に前記コンテンツをリアルタイムに表示させることができる。

【0012】

さらに、この発明の一実施形態によれば、このシステムはさらに、IPアドレスの使用情報を、このIPアドレスの利用者に関連付けて格納するIPアドレス使用情報格納手段と、前記利用者がWebサイトに接続する際に、接続に係るIPアドレスによる当該Webサイトへの接続ログを記録する接続ログ記録手段とを有し、前記コンテンツ配信手段は、接続ログ記録手段によって記録されたログ情報に含まれるIPアドレスと前記IPアドレス使用情報とを参照することで、利用者の接続先Webサイトを判別し、このサイトに関連するコンテンツを前記利用者の端末に配信する手段を有する。

【0013】

このような構成によれば、前記利用者がインターネットに接続している最中に、この利用者の嗜好に応じたデジタルコンテンツを利用者の端末に表示させるこ

とができる。

【 0 0 1 4 】

この場合、前記接続ログ記録手段は、利用者の端末をインターネットに接続する際に経由させる代理サーバに設けられていることが望ましい。また、前記コンテンツ配信手段は、各種Webサイトの情報をカテゴライズして格納するカテゴライズ情報格納手段を有し、前記接続先Webサイトが、どのカテゴリに属するかを判別し、そのカテゴリに関連するコンテンツを利用者に配信するものであることが望ましい。

【 0 0 1 5 】

この発明の第2の主要な観点によれば、利用者の端末をネットワークに接続するインターネット接続システムであって、電話会社から利用者の発信元情報を受け取る発信元情報獲得手段と、この発信元情報から、利用者の発信元地域を判別する発信元地域判別手段と、この発信元地域判別手段で判別した発信元地域を前記利用者に関連付けて出力する利用者発信地域出力手段とを有することを特徴とするインターネット接続システムが提供される。

【 0 0 1 6 】

このような構成によれば、例えば、利用者の発信地域に応じたコンテンツの配信を行うために、接続に係る利用者の発信元地域を判別して外部に出力することができる。

【 0 0 1 7 】

ここで、前記利用者発信地域出力手段は、前記利用者の接続先からの前記利用者のIPアドレスを示した前記利用者発信地域の出力要求に応じて、前記接続先に前記利用者発信地域を出力するものであることが好ましい。

【 0 0 1 8 】

このような構成によれば、前記接続先は、このインターネット接続システムから受け取った利用者発信地域に基いて、利用者に広告等を発信することができる。

【 0 0 1 9 】

この発明の第3の観点によれば、利用者の端末をネットワークに接続するイン

ターネット接続システムであって、前記利用者に端末にＩＰアドレスを付与し、インターネットに接続するインターネット接続手段と、利用者の情報を前記利用者に関連付けて格納する利用者情報格納手段と、前記利用者の接続先からの前記利用者のＩＰアドレスを示した前記利用者情報の出力要求に応じて、前記接続先に前記利用者情報を出力する利用者情報出力手段とを有することを特徴とするインターネット接続システムが提供される。

【 0 0 2 0 】

このような構成によれば、前記接続先は、このインターネット接続システムから受け取った利用者情報に基いて、利用者の発信元や嗜好に合致した広告等を発信することができる。

【 0 0 2 1 】

この発明の第４の観点によれば、利用者の端末にインターネットを通じてコンテンツを配信するコンテンツ配信システムであって、利用者の発信元地域情報を取得する利用者発信地域情報取得手段と、利用者の発信元地域に応じたコンテンツを生成するコンテンツ生成手段と、利用者の端末に、前記コンテンツ生成手段によって生成された前記発信地域に応じたコンテンツを配信するコンテンツ配信手段とを有することを特徴とするコンテンツ配信システムが提供される。

【 0 0 2 2 】

このような構成によれば、利用者の発信元地域に応じたコンテンツを生成して、利用者の端末に配信することができる。このことにより、例えば利用者が引越し先や出張先や旅行先等で最も欲するコンテンツを、利用者が自己の嗜好情報を更新しなくても配信することができる。

【 0 0 2 3 】

この発明の第５の観点によれば、インターネット接続サービス業者が、当該インターネット接続サービスの利用者の発信元地域を判別し、この発信元地域に関連したコンテンツを生成して前記利用者に提供することを特徴とするインターネット利用者への情報提供方法が提供される。

【 0 0 2 4 】

このような構成によれば、例えば利用者が引越し先や出張先や旅行先等で最も

欲するコンテンツを、利用者が自己の嗜好情報を更新しなくても配信することができる。

【 0 0 2 5 】

この発明の第 6 の主要な観点によれば、コンピュータシステムに対して所定のインターネット接続アクセスポイントにダイヤルアップ接続させる指令を与えるためのインターネット接続プログラム製品であって、記憶媒体と、この記憶媒体に格納され、利用する回線網種別を判別する回線網種別判別手段と、前記記憶媒体に格納され、利用する回線網種別が所定の回線網種別である場合には接続先電話番号に発信元情報提供符号を付加する発信元情報提供符号付加手段とを有することを特徴とするインターネット接続プログラム製品が提供される。

【 0 0 2 6 】

このような構成によれば、利用者に対してその発信元地域に応じたコンテンツを配信するために、インターネット接続業者に対して発信元電話番号等の発信元情報を通知することができる。

【 0 0 2 7 】

なお、この発明の他の特徴と顕著な効果は、次の発明の実施の形態の項と添付した図面とによって、より明確に理解することができる。

【 0 0 2 8 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を図面に基づき説明する。

【 0 0 2 9 】

(システム構成)

図 1 及び図 2 は、インターネットサービスプロバイダ等に設置された本発明の一実施形態に係るインターネット接続システム 1 を示す機能ブロック図である。なお、各図中、S 1 ～ S 2 2 で示すのは、このインターネット接続システム 1 の処理手順を説明するためのステップ参照番号である。

【 0 0 3 0 】

図 1 に示すように、前記インターネット接続システム 1 は、自宅又は外出先の電話回線からダイヤルアップ接続してきた利用者 4 (利用者端末) に I P アドレ

スを割り振ってインターネット 5 に接続するターミナルサーバ 6 a ～ 6 c と、前記ターミナルサーバ 6 a ～ 6 c に接続した利用者 4 の発信元情報を取得すると共にその利用者の認証を行なう認証サーバ 7 と、前記利用者 4 のインターネットへの接続が必ず経由するように設定され、接続に係る IP アドレスの URL 接続先ログを取得する代理サーバ 8 と、前記発信元情報と前記 URL 接続先ログとから各利用者 4 の接続元地域と接続先情報を演算し、これに基づいて利用者の嗜好に応じたコンテンツを配信するアップデートサーバ 9 とを有する。

以下、このシステム 1 の構成及び機能を、その動作に基いて説明する。

【 0 0 3 1 】

（ターミナルサーバ）

まず、前記各ターミナルサーバ 6 a ～ 6 c は、通信モデムが接続されてなる図示しない複数のポートを有しており、例えば、電話会社の交換機 1 0 に接続された公衆回線 1 1 を通して利用者 4 と接続されるようになっている。各ターミナルサーバ 6 a ～ 6 c は、図 3 に示すアクセスポイント A P 1 （東京）、アクセスポイント A P 2 （横浜）、アクセスポイント A P 3 （神戸）に設置されている。このアクセスポイントには、アクセスポイント A P 3 のように着信払い用の電話番号（0 1 2 0 -、1 - 8 0 0 - 等）を割り当てることもできるようになっている。

【 0 0 3 2 】

そして、このターミナルサーバ 6 a ～ 6 c は、利用者 4 からの発呼を接続する際に、電話会社 1 0 からの着信信号に基づいて利用者 4 の発信元情報（発信電話番号等）を取得すると共に認証情報としてのユーザ ID 及びパスワードを受け取る機能を有する。このターミナルサーバ 6 a ～ 6 c は、利用者 4 との接続がなされたならば、前記認証サーバ 7 に前記発信元情報及び認証情報を渡して認証指令を発する（ステップ S 1）。

【 0 0 3 3 】

なお、例えばアクセスポイント A P 3 のように着信者払い用の電話番号が割り付けられている場合には、前記ターミナルサーバ 6 c は、電話会社からの着信信号に利用者の発信元情報が含まれていないことに基いて回線の接続自体を拒否す

ることが好ましい。これにより、インターネットアクセスプロバイダ側に無駄な課金が発生するのを防止することができる。

【 0 0 3 4 】

(認証サーバ)

図 1 に示すように、前記認証サーバ 7 は、前記ターミナルサーバ 6 a ～ 6 c から受け取った発信元情報を取得する発信元情報取得部 1 3 と、前記利用者の認証情報を受け取って認証を行う利用者認証部 1 4 を有する。

【 0 0 3 5 】

発信元情報取得部 1 3 は、発信元情報として発信元電話番号が取得できる場合には発信元電話番号、発信元電話番号が取得できない場合には回線網種別（公衆電話、携帯電話等の別等）を取得する機能を有する。

【 0 0 3 6 】

前記認証部 1 4 には、前記ユーザ ID 及びパスワードを含む利用者情報を格納する利用者認証情報格納部 1 6 が接続されている。そして、この認証部 1 4 は、前記利用者 4 が入力した認証情報を、前記利用者情報格納部 1 6 に格納された利用者情報と照合することで、利用者 4 の認証を行なう機能を有する（ステップ S 2、S 3）。

【 0 0 3 7 】

この認証結果に基づいて、前記認証サーバ 7 は、前記ターミナルサーバ 6 a ～ 6 c に対して肯定若しくは否定の認証結果を返す（ステップ S 4）。そして、このことに基づき、この認証サーバ 7 は、図 1 に 1 8 で示す IP アドレス・接続元情報格納部に、図 4 に示すように、利用者の ID、この利用者に割り付けた IP アドレス、接続元情報を格納する（ステップ S 5）。

【 0 0 3 8 】

一方、前記ターミナルサーバ 6 は、この認証サーバ 7 から肯定の認証結果を受け取ったことに基いて、利用者 4 のインターネット接続を許可し、利用者 4 が接続されているポートに前記の IP アドレスを割り振る。このことで、利用者 4 は、ターミナルサーバ 6 a ～ 6 c との接続を切断するまで、この IP アドレスを使用して各種 URL（Web サイト）に接続して情報をダウンロード／アップロー

ドすることができる（ステップS6）。

【0039】

（ルーティングサーバ、代理サーバ）

図1に示すように、前記ターミナルサーバ6にはルーティングサーバ12（ルータ）が接続されており、このルーティングサーバ12は、ターミナルサーバ6を通したインターネットへの接続を、すべて前記代理サーバ8を経由させるようにルーティング（ステップS7）するようになっている。

【0040】

例えば、利用者4が、図1に13aで示すURL1の閲覧リクエストを発したとすると、前記代理サーバ8を経由して当該URL1へ接続されることになる（ステップS6、S7、S8）。このことで、代理サーバ8は、どのIPアドレスで、どのURLへの接続リクエストがあったかの接続先ログを取得し、IPアドレス－URL接続先ログ格納部20に格納する（ステップS9）。そして、利用者4がURL（URL2、URL3等）への接続リクエストを発する毎に、前記代理サーバ8は、対応する接続先ログを記録していく。

【0041】

（アップデートサーバ）

前記アップデートサーバ9は、図1に示すように、前記利用者の発信元情報に基づいて利用者の発信元地域を判別する発信元地域判別部21と、前記利用者－URL接続先ログ情報に基づいて利用者の嗜好を判別する嗜好判別部22と、前記発信元地域判別部21及び嗜好判別部22の判別結果に基づいて発信元地域及び嗜好に応じたコンテンツを配信するコンテンツ配信部23とを有する。

【0042】

以下、このアップデートサーバ9の機能を図2に基づいて詳細に説明する。

【0043】

まず、発信元地域判別部21は、所定のアップデート周期（数分若しくは数秒）毎に生成されるアップデート指令に基いて起動され、前記IPアドレス使用情報格納部18から利用者の接続元情報を取り出す（ステップS10）。

【0044】

この発信元地域判別部 2 1 には、発信元を判別するためのアルゴリズムを格納する発信元判別アルゴリズム格納部 2 5 と、前記アクセスポイントの設置地域情報を格納するアクセスポイント情報格納部 2 7 と、前記発信元情報から発信元地域を判別するための発信元地域情報格納部 2 6 とが接続されている。

【 0 0 4 5 】

アルゴリズム格納部 2 8 には、図 5 に示すように、利用者が利用した回線網種別と、その回線網を利用した場合の発信元判別アルゴリズムとが関連付けられて格納されている。例えば、回線網種別が携帯電話や一般加入電話の場合には、発信番号の局番（市外局番及び市内局番）に基づいて発信元地域を判別する。また、PHS や公衆電話のように、発信番号が分からない場合には、アクセスポイントの設置地域の市外局番に基づいて判別する（ステップ S 1 1）。

【 0 0 4 6 】

アクセスポイント情報格納部 2 7 には、図 3 に示すように、アクセスポイント名、アクセスポイントの契約電話番号及びアクセスポイントの所在地局番が格納されているから、このアクセスポイントが特定できれば、このアクセスポイント格納部 2 7 からその市外局番を取り出すことができる（ステップ S 1 2）。

【 0 0 4 7 】

前記発信元地域情報格納部 2 6 には、図 6 に示すように、発信元の局番と接続元地域（若しくは郵便番号等の地域コード）とが関連付けて格納されている。したがって、この利用者発信元地域判別部 2 1 は、利用者の発信元電話番号が分かる場合には、この発信元電話番号の局番、それ以外の場合には、アクセスポイントの局番を適用することで、当該利用者 4 の発信元地域を判別し（ステップ S 1 4）、この結果を前記コンテンツ配信部 2 3 に出力する（ステップ S 1 5）。

【 0 0 4 8 】

一方、前記嗜好判別部 2 2 は、所定のアップデート周期毎に、前記 IP アドレス・URL 接続先ログ格納部 2 0 から、当該 IP アドレス使用時間中におけるこの IP アドレスでの URL 接続先ログを取り出す（ステップ S 1 6）。

【 0 0 4 9 】

この嗜好判別部 2 2 には、各種 URL をカテゴライズしてなるカテゴライズ情

報、すなわち、URLを予め定められた所定のジャンルに分類してなる情報を格納するカテゴリズ情報格納部29が接続されている。この嗜好判別部22は、前記利用者－URL接続先情報格納部18から取り出した利用者毎の接続先URLを、このカテゴリズ情報に適用することで、当該利用者4の接続先URLがどのカテゴリに属するかを判別する（ステップS17、S18）。

【0050】

図8は、前記カテゴリズ情報の一例である。例えば、前記URL1は、「車」のカテゴリに分類され、URL2は、「旅行」のカテゴリに分類され、URL3は「証券」のカテゴリに分類されている。

【0051】

この嗜好判別部22による判別結果も、前記コンテンツ配信部23に出力されるようになっている（ステップS19）。

【0052】

次に、前記コンテンツ配信部23について説明する。

【0053】

前記発信元地域情報判別部21及び前記嗜好判別部22から出力された利用者4毎の接続元地域情報及びURL接続先カテゴリズ情報は、当該利用者の嗜好に応じたコンテンツを配信するための元データとなるものである。このコンテンツ配信部23には、文書ファイル、音声ファイル、画像ファイル等の各種マルチメディアデジタルコンテンツを上記発信元地域情報及びカテゴリズ情報に関連付けた状態で格納するコンテンツ格納部30が接続されている。ここで、コンテンツの主な用途は広告である。

【0054】

このコンテンツ配信部23は、前記コンテンツ格納部30から、前記利用者4の発信元地域に係るコンテンツ、及び利用者が最も関心を持っているカテゴリに属するコンテンツを取り出して（ステップS20）、これにアクセスするためのHTML文書を生成（コンテンツ生成）する。前記コンテンツは、そのHTML文書中に直接表示されていても良いし、リンクとして埋め込まれていても良い。そして、このコンテンツ配信部23は、前記ルーティングサーバ12を制

御することで、このHTML文書を前記利用者4の端末上に、ブラウザのフレーム機能等を利用し、接続先URLのホームページ等とは別に表示させる（ステップS21）。

【0055】

このことで、利用者は、現在インターネットに接続している発信元地域に関連した広告や情報等のコンテンツ、現在接続しているURLに関連するコンテンツをリアルタイムで見ることができる。

【0056】

（接続用ソフトウェア）

上記一実施形態では、利用者のダイヤルアップ接続時に、発信元情報を得られなければならない。現行のシステムでは、一般加入電話の場合、ダイヤルアップ接続する際に、接続先電話番号に所定の符号を付加する必要がある。

【0057】

このため、この実施形態では、利用者に接続用ソフトウェアを配布し、コンピュータシステムにインストールさせるようにすることが好ましい。

【0058】

図8は、このプログラムがインストールされたコンピュータシステムの概略構成図である。

【0059】

このシステムでは、CPU42、RAM43、モデム44、ディスプレイやキーボード等の入出力装置45等が接続されたバス48に、プログラム格納部46とデータ格納部47とが接続されている。このプログラム格納部46とデータ格納部47は実際には同一の記憶媒体から構成されるものであっても良いし、異なる記憶媒体で構成されるものであっても良い。

【0060】

プログラム格納部46には、この実施形態にのみ関係するもののみ説明すると、図示しないメインプログラムの他、利用する回線網種別を判別する回線網種別判別部50と、回線網種別が所定の回線網種別である場合には接続先電話番号に発信元情報提供符号を付加する発信元情報提供符号付加部51と、前記モデム4

4 を介して前記発信先電話番号に接続する接続指令部 52 と有する。

【0061】

また、データ格納部 47 には、利用者の端末からアクセスポイントまでの接続に利用する回線網種別を回線付加番号情報と共に格納する回線網種別情報格納部 53 と、アクセスポイント毎の接続先電話番号を格納する接続先電話番号格納部 54 とが接続されている。

【0062】

このプログラムを起動すると、まず、前記メインプログラムは、ディスプレイ（入出力装置 45）上に、例えば、図 9 に示す画面を表示する。この画面は、利用回線網選択部 56 と、接続先電話番号選択部 57 とからなる。利用者が、適当なパラメータを選択した後、回線接続ボタン 58 を押すことで、前記回線接続指令部 52 は、発信元情報通知モードでの接続を行うように構成されている。

【0063】

（実施形態の効果）

このような構成によれば、以下の効果を得ることができる。

【0064】

第 1 に、上記実施形態によれば、サービス申込時に入力したままの静的な嗜好情報に依存するのではなく、利用者 4 の最新の行動に基いて、動的な嗜好情報を生成することができるので、常に利用者 4 のニーズに合致したコンテンツ配信等が行なえる。特に、利用者が、申込時とは異なる場所、例えば出張先からアクセスした場合に、この出張先地域に関連したコンテンツを配信することができる効果がある。

【0065】

第 2 に、上記実施形態によれば、専用の接続用ソフトウェアを利用させることで、利用回線網の種別に応じて、発信者番号の通知に必要な情報符号の付加を行わせるようにしたので、利用者の発信元地域を確実に判断することができる。また、電話会社からの着信信号に発信元情報を含ませることができない場合には、アクセスポイントの設置地域に関連したコンテンツを配信することができる。

【0066】

第3に、上記実施形態によれば、代理サーバ8を設け、この代理サーバ8を経由させることでIPアドレス毎のURL接続先ログを取得し、このIPアドレスを手がかりに利用者4の接続先URLを判別するようにしている。このように特定のサーバ（サイト）を経由させることで、簡単な構成で、かつ利用者の嗜好を確実に取得できる効果がある。

【0067】

なお、この発明は上記一実施形態に限定されるものではなく、発明の要旨を変更しない範囲で種々変形して実施可能である。

【0068】

例えば、上記一実施形態のシステムは、前記コンテンツを利用者の端末にリアルタイムに配信するものであったが、後で電子メール等の手段で広告等のコンテンツを配信するようにしても良い。この場合には、前記アップデートサーバに設けられた利用者発信元地域判別部、嗜好判別部及びコンテンツ配信部は、インターネットサービスプロバイダに設けられている必要はない。情報提供業者の情報提供システムに設けられていれば良い。

【0069】

また、利用者に、広告等のコンテンツを配信する者は、利用者の接続先のWebサイトであっても良い。この場合、Webサイトは、利用者のIPアドレスをこのインターネット接続システムに示して、利用者の発信元地域及び嗜好情報を受け取るようにすることが好ましい。このようにすれば、前記Webサイトでは、自己に接続した利用者に対して、この利用者の発信元地域及び嗜好に合った広告等を提示することができる。この広告等の提示は、ブラウザのフレーム機能を使用して行なうことが好ましい。

【0070】

また、上記システムは、利用者の要求に応じて、当該利用者の過去の接続履歴情報に各URL接続先へのリンクを含ませて出力するようにしても良い。このような構成によれば、1人の利用者が、複数の異なる端末若しくはブラウザを使用するような環境下においても、当該利用者に対して統一的な接続履歴情報を提示することが可能になる。

【 0 0 7 1 】

また、上記一実施形態では、ダイヤルアップ接続の場合を例にとって説明したが、常時接続等の場合であっても適用可能である。

【 0 0 7 2 】

また、前記一実施形態において、上記アップデートサーバへの発信元情報及び URL 接続先情報の出力は、利用者の意思（情報出力許可／不許可情報）に基いてなされるようになっていくことが好ましい。ただし、これに限定されるものではなく、所定の条件の下、全ての利用者についての発信元情報及び URL 接続先情報が出力されるようになっていても良い。

【 0 0 7 3 】

さらに、上記一実施形態では、この発明は、利用者の端末をインターネットに接続するシステムに適用されていたが、例えば、デジタル衛星方法のプログラム配信局に設けられ、利用者の接続元の地域に応じたプログラム（デジタルコンテンツ）を地上波に載せて配信するように構成されても良い。

【 0 0 7 4 】

【発明の効果】

以上説明したように、この発明によれば、インターネット接続プロバイダに設置され、利用者の手を煩わせることなく、かつ利用者のアップデートされた嗜好情報を得ることができるインターネット接続システム等を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

この発明の一実施形態に係るインターネット接続システムを示す概略構成図。

【図 2】

同じく、アップデートサーバを示す概略構成図。

【図 3】

同じく、アクセスポイント情報の例を示す図。

【図 4】

同じく、IP アドレス利用情報の例を示す図。

【図 5】

同じく、発信元判別アルゴリズムの例を示す図。

【図 6】

同じく、発信元地域情報の例を示す図。

【図 7】

同じく、IPアドレス利用情報の例を示す図。

【図 8】

同じく、回線接続用プログラムがインストールされた利用者端末の構成を示す概略構成図。

【図 9】

同じく、回線接続用プログラムのインターフェースの一例を示す図。

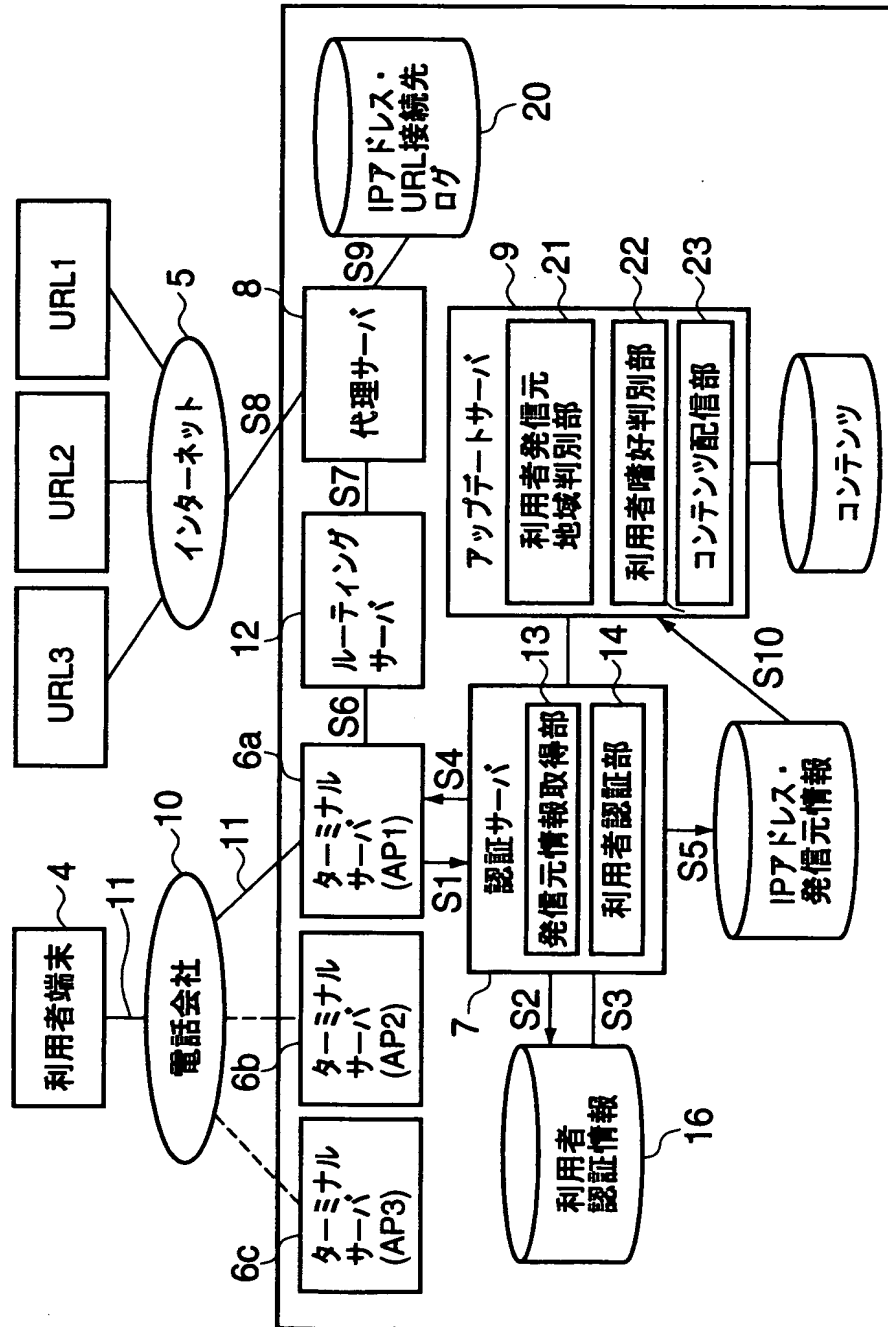
【符号の説明】

- 1 …インターネット接続システム
- 4 …利用者
- 5 …インターネット
- 6 a ～ 6 c …ターミナルサーバ
- 6 c …ターミナルサーバ
- 6 …ターミナルサーバ
- 7 …認証サーバ
- 8 …代理サーバ
- 9 …アップデートサーバ
- 1 0 …電話会社
- 1 1 …公衆回線
- 1 2 …ルーティングサーバ
- 1 3 …発信元情報取得部
- 1 4 …利用者認証部
- 1 6 …利用者認証情報格納部
- 1 8 …IPアドレス・URL接続先ログ格納部
- 2 1 …利用者発信元地域判別部

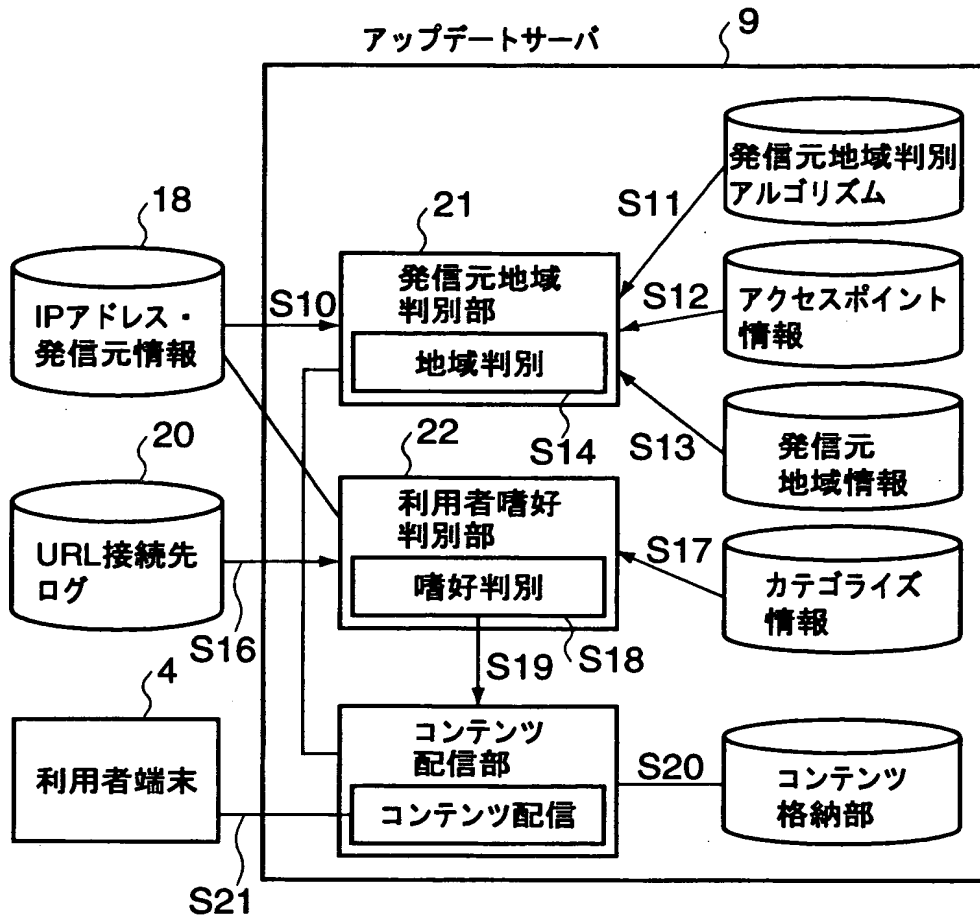
- 2 2 …嗜好判別部
- 2 3 …コンテンツ配信部
- 2 5 …発信元判別アルゴリズム格納部
- 2 6 …発信元地域情報格納部
- 2 7 …アクセスポイント情報格納部
- 2 8 …アルゴリズム格納部
- 2 9 …カテゴライズ情報格納部
- 3 0 …コンテンツ格納部
- 4 2 …C P U
- 4 3 …R A M
- 4 4 …モデム
- 4 5 …入出力装置
- 4 6 …プログラム格納部
- 4 7 …データ格納部
- 4 8 …バス
- 5 0 …回線網種別判別部
- 5 1 …発信元情報提供符号付加部
- 5 2 …回線接続指令部
- 5 3 …回線網種別情報格納部
- 5 4 …接続先電話番号格納部
- 5 6 …利用回線網選択部
- 5 7 …接続先電話番号選択部
- 5 8 …回線接続ボタン

【書類名】 図面

【図 1】



【図 2】



【図 3】

アクセスポイント情報

アクセスポイント名	電話番号	設置地域
AP1	03-111-1111	03 (東京)
AP2	045-222-2222	045 (横浜)
AP3	0120-3333-333	078 (神戸)
...

【図 4】

IPアドレス利用情報

利用者	利用者ID	IPアドレス	発信元
A	1111	(IP 1)	045-222-2222
B	2222	(IP 2)	公衆
C	3333	(IP 3)	03-111-1111
...

【図 5】

発信元判別アルゴリズム

回線種別	アルゴリズム
一般加入電話	発信元の局番で判別
公衆電話	アクセスポイントの局番で判別
...	...

【図 6】

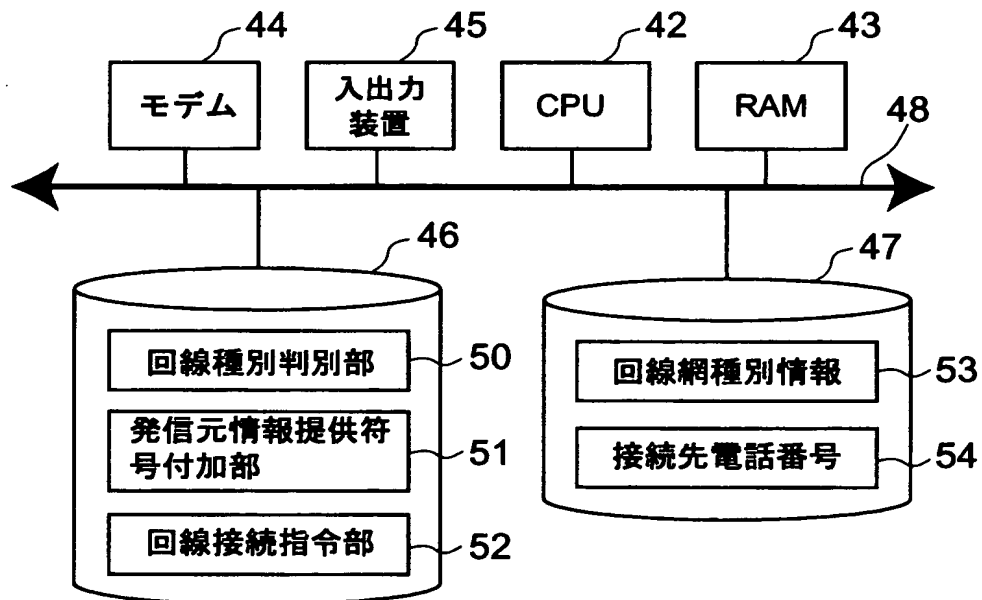
発信元地域情報

発信元or アクセスポイント局番	地域
045-222	YOKOHAMA-1
03-111	TOKYO-1
...	...

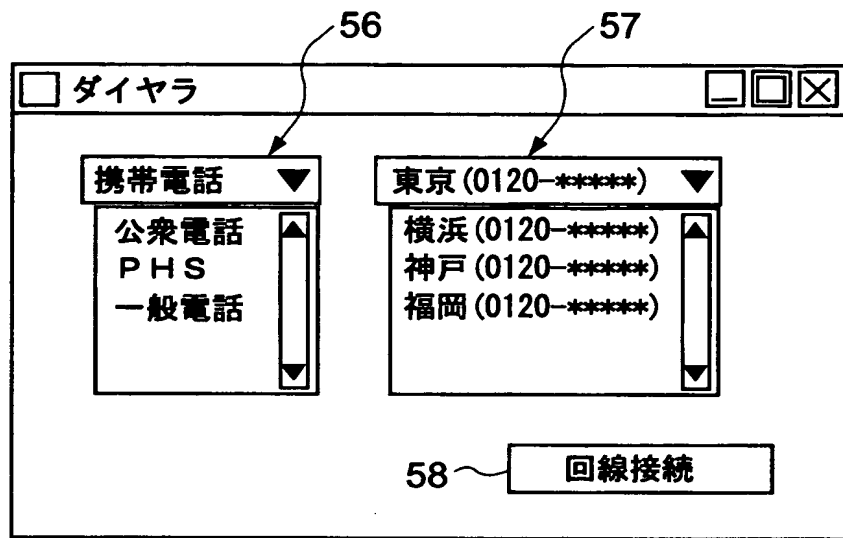
【図 7】

URL	カテゴリー
⋮	
URL 1	カテゴリー1 (車)
⋮	
URL 2	カテゴリー2 (旅行)
⋮	
URL 3	カテゴリー3 (証券)
⋮	

【図 8】



【図9】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 利用者の接続先地域を判別することができ、これに応じたコンテンツを配信することができるインターネット接続システム等を提供する。

【解決手段】 利用者の端末 4 をネットワーク 5 に接続するインターネット接続システムであって、利用者の発信元地域情報を取得する利用者発信地域情報取得部 1 3 と、利用者の発信元地域に応じたコンテンツ生成するコンテンツ生成部 9 と、前記インターネットに接続している利用者の端末に、前記コンテンツ生成手段によって生成されたコンテンツを配信するコンテンツ配信部 2 3 とを有する。

【選択図】 図 1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2000-182692
受付番号	50000758754
書類名	特許願
担当官	金井 邦仁 3072
作成日	平成12年 7月12日

<認定情報・付加情報>

【提出日】	平成12年 6月19日
【特許出願人】	
【識別番号】	500260296
【住所又は居所】	東京都渋谷区神泉町10番10号 神泉ビル
【氏名又は名称】	株式会社フリービット・ドットコム
【代理人】	申請人
【識別番号】	100104215
【住所又は居所】	東京都港区南青山2丁目13番7号 マトリス4 F 大森・矢口国際特許事務所
【氏名又は名称】	大森 純一
【選任した代理人】	
【識別番号】	100104411
【住所又は居所】	東京都港区南青山2丁目13番7号 マトリス4 F 大森・矢口国際特許事務所
【氏名又は名称】	矢口 太郎

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [500260296]

1. 変更年月日 2000年 6月 5日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都渋谷区神泉町10番10号 神泉ビル
氏 名 株式会社フリービット・ドットコム